

2019年3月13日

各 位

株式会社 みなと銀行
みなとキャピタル 株式会社

「みなと成長企業みらいファンド」による投資実行について

関西みらいフィナンシャルグループのみなと銀行（頭取 服部 博明）他が設立しました「みなと成長企業みらいファンド投資事業有限責任組合」は、2019年2月、KOTA I バイオテクノロジー株式会社（本社：大阪市、以下同社）への投資を実行しましたのでお知らせします。

同社は、大阪大学発のベンチャー企業で2016年5月に設立し、生命科学データの解析等によるバイオマーカーや新薬の開発支援を主な事業としています。大阪大学及び大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社（本社：大阪府吹田市、以下OUV C）は、民間ベンチャーキャピタルと連携し、医療やバイオベンチャー企業の育成支援を強化しています。

今回の投資案件は、大阪大学免疫学フロンティア研究センターの研究テーマを事業化し、新薬の研究開発に寄与する「免疫レパトア(*)から免疫システムの機能を解析するサービス」を提供するものです。

本解析サービスは、がんや自己免疫疾患等の診断・薬剤感受性の解析や、希少疾患や神経系疾患での病態研究にも活用でき、新薬の開発のみならず、個別化医療においてもその効用が期待されています。

今回の投資は、拡大する医薬品、バイオマーカー市場における同社の将来性、新薬の研究開発への多大なる貢献が期待されることから投資決定いたしました。

当行グループは、OUV Cとの連携を深めることで、神戸医療産業都市の周辺企業との取引や関連ベンチャー企業の育成支援に向けたノウハウを蓄積していきます。

今後もファンドの出資やコンサルティング活動を通じて、成長産業を積極的に支援してまいります。

*免疫レパトア

ヒトの体は、非常に幅広い病原体から身を守るため、多様なB細胞受容体（BCR）、T細胞受容体（TCR）や抗体と呼ばれる分子を産生します。この総体を免疫レパトアと呼びます。レパトアとは「レパー トリー」と同義のフランス語です。免疫レパトアは体内の抗原（病原体）に対応して変化していくため、その多様性は 10^{18} 種類に及ぶと推測され、解析は困難とされていました。

【投資案件の概要】

投資先名	KOTA I バイオテクノロジー株式会社 代表取締役 山下 和男
所在地	大阪府吹田市山田丘3番1号 大阪大学微生物病研究所本館2F
事業内容	・生命科学データ解析 ・新薬開発に関わるデータ解析 等
投資額	20百万円
投資形態	第三者割当増資

以 上